

わかくさ

平成24年(2012年)4月20日発行

機関誌『わかくさ』 第20号

社会福祉法人 栄光会

児童養護施設 若草園

IP7号 050-3344-8850 Tel (0880)33-0247

Fax (0880)33-0518

〒787-0155 高知県四万十市下田2211

編集員：片山幸一、横山貴実子、瀬戸雅弘



3月10日 卒園式

今年度は3名の子どもが園から巣立っていきました。それぞれ、4月からは社会人として仕事を始めます。感動の、なみだ、なみだ、なみだ。



▼職員のはなむけの歌 子ども達の余興▼



ごあいさつ



園長 福留久美

謹啓

陽春の候、皆様には春の暖かさのように穏やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。平素より格別のご厚情賜りまして、深く感謝いたします。

本年度もよろしくお願い申し上げます。

平成24年度がスタートしました。46名の子ども達がそれぞれ進級・進学して元気はつらつと登校する姿をみると、心と体の成長を強く感じている毎日です。この春、3名の卒園生が若草園を巣立っていきました。各々が就職ができ、自分の決めた道で良いスタートができておりますことを、この場をかりてお支え頂いております皆様方に御報告させていただきます。

さて、本年度は若草園創立55年を迎えるということで、記念事業を計画しております。沢山の方々のご支援で記念誌づくり、ガーデンパーティー、8月の記念式典、シンポジウム等の準備を進めているところです。大舎から小舎へと生活形態をかえての養育、想い、また、そこから観えてくる課題などをお伝え出来ればと考えております。この記念事業が今後の社会的養護を担っている私共にとりまして、55年の歴史と小集団養育の研鑽へと繋げ邁進できるものとします。それぞれの催しに際しましては、ご案内をさせていただきますので、お忙しい所恐れ入りますが、足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

平成24年度が、皆様と子ども達が健康で安心して暮らせる1年でありますようにお祈り致しまして年度初めのごあいさつとさせていただきます。

謹白

【55年記念事業 開催日程】

5月12日(土)11:30~14:00

記念ガーデンパーティー

8月10日(金)13:00~17:00

記念式典・シンポジウム

子どもに関するご相談は…
児童家庭支援センター
わかくさ

Tel (0880)33-0258

24時間365日無料

若草園 平成24年度 職員体制

新たな1年をこのメンバーで取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いたします。ベビールームは対象となる子どもが今のところ居ないため、職員は配置されていません。
(下記にありますFSWとは家庭支援専門相談員の事です)



Aホーム
滝沢愛・所谷英・和田千歩・秋元志津

Bホーム
森田涼子・中村奏・増田幸一

具同ホーム(地域小規模施設)
瀧澤勝・吉永直子・井垣裕子

Cホーム
福留久男・森初美・横山英里

Dホーム
谷岡初美・横山貴実子・横山智也

平野ホーム(分園・小規模グループケア)
山中亜理佐・岡崎光子・新開力

管理棟事務室
福留久美・片山幸一・瀬戸雅弘

炊事
植木福美・上岡穂子

本園フリー
森田佳代(FSW)・尾崎久美子・新開真菜

児童家庭支援センター
小島かをり・植木美和



本年度から新しく職員となりました保育士の和田千歩と申します。社会人一年生なので、まだご迷惑をかけることが多々あると思いますが、よろしくお願致します。子どもたちの成長に寄り添っていきながら、私自身も成長できるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。

和田千歩
わだちほ



はじめまして、看護師の秋元志津です。若草園に来る前は大方生華園で働いていました。子供が大好きで子供たちと会えるのを楽しみに毎日通っています。まだまだ不慣れで職員さんや子供たちに助けられることが多く、至らない事ばかりですが、子供たちとのふれあいを大切に、子供たちが元気に楽しく過ごせるように気をつけて行きたいと思っています。よろしくお願致します。

秋元志津
あきもとしづ



新人職員の紹介

年度が変わって職員の異動がございます。炊事の植木福美は定年退職しましたが、引き続き1年間の契約職員となりました。土居佐枝子、城めぐみは退職し、臨時職員の小松伸雄は期間満了となりました。なお、橋村貴美子と所谷路子が産前産後休暇・育児休業で今年度いっぱいお休みします。

2月には欠員となっております見ました看護師と、4月から新たに3名の仲間を迎えました。

小島かをり
おじまかをり



この4月から児童家庭支援センターわかくさでお世話になっております。以前若草園でお仕事させてもらっていましたが、退職して約15年、ご縁がありもう一度「わかくさ」でお仕事させてもらう事となりました。まだ慣れない事もありますが、よろしくお願致します。

横山智也
よこやまちや



今年度から若草園で子ども達と生活をさせて頂いてます、横山智也です。6年間山口県にある児童養護施設で勤務していました。小舎制での勤務という事で子どもと深く関わり、楽しく毎日を過ごしたいと思っております。今までの経験を活かし、子どもと少しずつ成長したいと思っておりますので、多くのご指導をよろしくお願致します。



子どもたちの様子



ボーイスカウト活動ー若草園で活動を開始して51年目になりました



四万十市内の美容師さんがボランティアで子どもの出前散髪



4月9日 下田中学校入学式
今年度は8名の子どもが小学校を卒業し、下田中学校へ6名、中村西中学校へ2名が入学しました。



ひな祭りのパーティー



新年恒例の源平かるた大会
(小倉百人一首)



各ホームでの活動(Bのホーム旅行)



3月で園を去る事になった職員たち



創設期はマキを燃やすだるまストーブで暖を取っていたが、建替後は生活のゆとりの意味合いも込めて薪ストーブが再び導入された。

開催日時
5. 12土 11:30~14:00
記念ガーデンパーティー
8. 10金 13:00~17:00
祝賀会&シンポジウム

いよいよ記念事業がガーデンパーティーから始まっています。若草園の誕生日は7月1日。建て替えて忙しかった50年目が過ぎてから、ひっそりとこの機関誌の表紙欄外にアピールを始めたのをご存じでしたか? 13号のちようどの位置に「若草園のたんじょう会」の記事でも触れた「誕生日を祝う事は、その人の存在を大切にすること」。その人が生まれて来た事を歓迎する気持ち。そして、共に時間を過ごす事が出来る喜びで、その記念日をいっしょにめでる。

若草園にやってくる子どもはさまざま事情です。詳しいデータは記念誌の完成を待つとして、若草園での入所期間も1日で帰った子どもから、16年以上も居た子どもまで、さまざまです。

まったく縁もゆかりのない場所へ、子どもたちは独りぼっちでやって来るのです。その受け皿となる若草園。彼らにとっては第2の家庭となります。建物は古くなつて壊され、また築かれ、制度は変化し、また改革され、職員は辞めていき、また加えられる。しかし子どもの一生涯のこの尊い時間、かけがえないこの瞬間は2度と繰り返しては来ないので、大切に上げてあげたい。

その若草園という施設の歴史の一コマを、どうか共にお祝いしていただけませんかでしょうか。

創立55年記念事業の予告

②共に時間を過ごすという事を考える





若草園創立55年記念事業

創立55年記念ガーデンパーティー 開催のご案内



11:30
～
14:00

『ガーデンパーティー』は、若草園を地域の方々に開放して、毎年恒例で行われております。今年には若草園が佐岡ではじめて設立されて満55年になり、創立55年記念事業の一環として開催する事になりました。5月12日(土曜日)午前11時30分から午後2時まで、園庭にて実施します。若草園55年の歩みについて、くわしくは8月の記念式典・シンポジウムにまかせる事としまして、初夏のさわやかなこの日、みんなでワイワイ楽しみながら、若草園の創立をお祝いできる時となればとの思いで計画しています。

軽食の出店があります(焼そば、カレーライス、ちらし寿司、からあげ、うどん、ドーナツ、ゼリー、ソフトドリンク、アイスクリンなど)。時間いっぱいまで一條太鼓演奏など続々と楽しめるイベントがあります。施設見学のよい機会ですのでお気軽にいらっしやませ。

入場無料。雨天実施(若草園の建物内で開催します)。

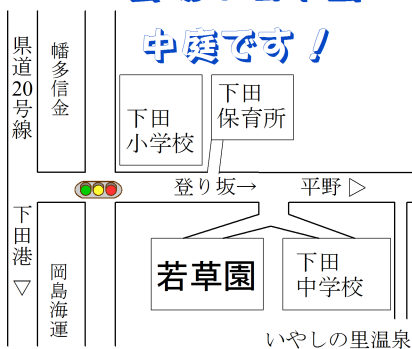
... その他の記念行事のお知らせ ...

2012(H24)8月10日(金)

- ・記念式典とシンポジウム 13:00～17:00 若草園(入場無料)
- ・祝賀会 18:00～20:00 新ロイヤルホテル四万十(1人5,000円)

会場は若草園の

中庭です!



8月10日の記念行事につきましては、次回の機関誌で詳しくご案内させていただきます。

(記念式典の開始時刻が前回案内よりも早くなりました)

▽平成23年度▽ 苦情解決報告

(平成23年4月1日～翌3月31日)

- よせられた件数：3件
- 申し出の方法：電話2、文書1(上期に報告済み)
- 申し出の内容：
 - ①若草園の職員が商店で知り合いに会ったときに、子どもの情報を洩らしているのではないかと申し出が保護者からあった。
 - ②在園児童の保護者から、若草園を訪問した時の対応がよくないとの申し出。
 - ③在園児童から、年上の子どもと年少の子どもで職員がえこひいきをしていると投書があった。
- 解決の方法：
 - ①双方の状況を聞き取りをした。該当職員は守秘義務について理解しており、相手がすでに知っていること以外には口外しては居ない事を伝え、納得して頂いた。
 - ②誤解の部分もあるが、結果的に気分を害してしまった事について謝罪した。
 - ③投書した子どもが特定できたので、具体的な内容で話して不満を和らげるように対応した。
- 現在、施設内の苦情解決委員は福留久美園長、福留久男主任指導員、森田佳代主任保育士です。外部の第三者委員は小笠原望氏、矢野川研氏、乾梢氏にお願いしております。(本紙17号に紹介記事があります)

編集後記



▽児童養護施設の生い立ちさまざまで、母体となる法人の信教信条を色濃く反映している。『若草園で生活する子どもたちへの援助指針』という施設にあるマニュアルは次のような文章で始まっている。「第一 職員の基本姿勢 一 職員は、イエスキリストの愛の精神に基づき、誠意と真心をもって子どもたちの自己実現を支援する」。若草園はキリスト教を基盤としている。▽S32の開園と同時に、子ども達は近所のキリスト教会に通い、精神的な素養を受けてきた。また創設期の資金難との戦いにおいても、CCF(キリスト教会)に通い、精神的な素養を受けてきた。また創設期の資金難と同時、子ども達は近所のキリスト教会に通い、精神的な素養を受けてきた。S34から資金援助を受けるようになった。その影響もあり卒園生の中には牧師夫人になった者もある。▽すこし古い話になるが二〇一〇年クリスマス前、読売新聞に「夜回り先生」で有名な元高校教師の文章が掲載されていた。「ライブラリー 水谷修さんの愛書探訪」というコラムで、愛読書を紹介する記事だった。彼が選んだ本というのが、キリスト教の聖典である『新約聖書』だった。「真実の愛と生き方がある」とされていた。学生運動に疲れ、自分を失っていた水谷さんは聖書に出会って「圧倒された」とおっしゃる。「『あなたの頬を打つ者には、もう一方の頬をも向けなさい』(新約聖書の言葉) 『敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしなさい』(同) 『求めなさい。そうすれば、与えられる』(同) 彼の教多くの教えに、自分のこれからの生き方を学びました」と。▽混沌とした現代社会。放射能や国家財政問題など実際の危機が迫り、大地震の発生や人口減少など漠然的な不安も重く将来にのしかかっている。そんな中、心を強く持ち続けるためには、目に見えるものばかりではなく、目に見えないものを大切にすることはとても大切だ。▽少なくとも、心には夢と希望を持っていたい。(せと)

苦情の受付は面談、電話、書面(施設内のポストに投函、もしくは郵送)にて随時受け付けております。